

# 道 女性研究者の進め！迷わず

ライフイベントに関するよくある疑問にお答えします。

## 結婚と研究、両立できる？

結婚はパートナーとの二人三脚で、結婚生活と研究を両立させていくには、パートナーとの協力が欠かせません。そもそも家事も育児も、パートナーと分担しながら共に行うべき仕事です。時には、両親や友人といった周りの方にも協力してもらいましょう。きっと両立できます！

明日は私ね！

今日は僕が世話をするよ。

## 大学院生で出産ってあり？

女性研究者が大学院生時に出産するケースは珍しくありません。昨今は男女共同参画社会の意識も浸透し始めていて、女性研究者が研究を続けやすい環境が整いつつあります。例えば研究奨励金が支給される日本学術振興会の「特別研究員\*1」の制度においても、出産・育児に配慮したRPD制度\*2が用意されています。研究と出産の両方を選ぶことは十分に可能です。

\*1 トップクラスの優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る日本学術振興会の制度。  
\*2 特別研究員制度の一環として、子育て支援や学術研究分野における男女共同参画の観点から、優れた若手研究者が、出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰できるように支援する制度。

RPD制度があるから安心！

## 家事や子育てをしながら、研究時間を確保できるの？

パートナーと手分けするにしても、保育園の送り迎えに、食事、洗濯、掃除……。一方では論文の読み込みに、学会発表の準備と、子育てをしながら、研究を続けるのは大変です。でも、女性研究者の中には、「気持ちの切り替えができて、かえってよかった」という人もいます。母として研究者として、いろいろなことに夢中になれると、あなた自身が輝きます。簡単ではありませんが、ぜひ挑戦してください。



問い合わせ先  
広島大学 女性研究活動推進本部  
広島県広島市鞆山一丁目1番1号(教育学部K棟402号室)  
電話: 082-424-9697 FAX: 082-424-4592  
HP: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/womenres/>  
E-mail: [womenres@hiroshima-u.ac.jp](mailto:womenres@hiroshima-u.ac.jp)  
2018年3月発行